

平成29年度 てがたん 予定表

毎月第二土曜日 10:00~12:00 (雨天中止)

申込不要・参加費100円 (中学生以下は無料)

観察場所：鳥の博物館周辺

年	日付	テーマ	内容
2017	4月8日	今だけ！春限定の自然観察	この時期にしか見られない春に渡る鳥、春に咲く花、春型のチョウなどのとっておきの自然を探します。
	5月13日	鳥の子育て	手賀沼周辺では多くの鳥が繁殖する季節です。開催中の企画展と併せて、鳥の子育てについて巣や卵を中心に深く知ってみましょう。
	6月10日	生きもののカタチとデザイン	鳥にはなぜ羽毛があるの？ どうして虫は小さいの？ など、生き物のデザインに注目し、その形の不思議を探ります。
	7月8日	歩道で生きるガッツな植物	よい環境とはいえない夏の歩道。そこは強い日射しと高温の乾燥の地です。そして人々の足に踏まれます。しかし、そこで目を出して育ち、花や果実をつけていく植物を観察します。
	8月12日	ヨシ原と沼のトンボ	手賀沼の岸に茂るヨシ原は、どんな植物で成り立っているのでしょうか？ そこにはどんな生き物が棲んでいるのでしょうか？ ヨシ原と生きものの関係を観察してみましょう。
	9月9日	昔はいなかった生きものたち	いつも同じように見える自然も、少しずつ変化しています。最近になって我孫子で見られるようになった昆虫や鳥に注目し、自然の変化を見てゆきます。
	10月14日	ヒヨドリの渡り	ヒヨドリは一年中身近に見られる鳥ですが、実は日本列島に沿って渡りをします。手賀沼を越えて南へ渡っていくヒヨドリを定点観測してみましょう。
	11月4・5日	てがたん in JBF	我孫子の自然観察の魅力は、野鳥だけにとどまりません。鳥の好きなあなたに、我孫子の自然の楽しみ方をご紹介します。
	11月11日	白樺派の見た我孫子の自然	我孫子市は、大正時代に志賀直哉や柳宗悦など白樺派の拠点になっていました。その作品には、当時の我孫子市の自然が描かれています。作品を紐解きながら現在の自然と比較してみま
	12月9日	地衣散歩 (ちいさんぼ)	樹皮・岩肌・コンクリートなど、さまざまな場所で知らず知らず目にしていく地衣類。冬でも枯れることのないいたたかな存在は不思議です。その謎に迫る「地衣散歩」です。
2018	1月13日	もっと知りたいカモのこと	手賀沼には冬になるとカモの仲間が多く渡ってきます。今回は、一年中見られるカルガモについて掘り下げて観察してみましょう。
	2月10日	シジュウカラと愉快的仲間たち	シジュウカラは秋から冬にかけて他の種の鳥と一緒に行動することがあります。どんな鳥が仲間になっているのか、一緒に探してみましょう。
	3月10日	冬芽と樹皮	寒い冬のうちから、樹木は春に向けた準備を進めています。樹皮の模様を拓本にとってみたり、冬芽の様子を観察してみましょう。